



14

【Q】60代女性です。1カ月前に交通事故で受傷し、首のエクス線写真で「異常はないが、以前からの変形がある」と指摘されました。その時は軽いむち打ち損傷の診断で痛み止めなどを処方されましたが、数日後、縫い物をしたら首の違和感と右手足の痛みが出ました。その後治まりましたが、下向きの作業をすると再発します。治療が長引くので、事故の加害

むち打ち損傷の症状続く

者に気が引けます。主治医には「首に負担をかけず普通に生活し、時々首を回すストレッチングをする」と指導されましたが、今後の治療・生活やリハビリはどうしたらいいでしょうか。

【A】交通事故（特に追突事故等）で頸部痛などを訴えて整形外科外来に受診される方は多数おられます。その多くは短期の薬剤投与とリハビリテーション治療で軽快されますが、この方のように長期にわたって諸症状

にしだ
西田 三郎 さぶろう



が残ることもあります。こういった場合、以前に医療機関で頸椎椎間板ヘルニア・頸部脊柱管狭窄症・変形性頸椎症・頸椎後縦靱帯骨化症などと診断されたものの、無症状だった可能性がります。何となく肩こり・頸部痛があり、受傷時の頸椎エクス線写真・断層撮影（CT・MRIなど）で異常が分かることが多いです。

この方も60代で頸椎の変形があり、右側の上・下肢の痛みが出現しています。頸椎MRI検査を強く勧めます。

交通事故での異常が認

西田整形外科医院
（大田原市）院長。新潟大卒。日本整形外科学会専門医。56歳。

められず、以前からの椎間板の突出（ヘルニア）による頸髄・脊髄神経根の圧迫や脊柱管狭窄などの異常が認められたなら、交通事故の治療は症状固定ということで終了して、今後はご自分の健康保険を使用して原因となっている病気を治療するのはいかがでしょうか。治療方法としては、湿

布剤の使用、消炎鎮痛剤・筋緊張緩和剤・神経障害治療剤等の内服、温熱・けん引療法・レーザーなどの保存的治療が主流です。主治医から説明された「首に負担をかけずに普通に生活する。時々首を回すストレッチングをする」という生活上の注意も極めて有用です。それでも症状が残るよ



イラスト/松本成貴

SHIMOTSUKE GRAPHICS

頸椎異常の有無を確認

うなら、星状神経ブロックなどの注射もします。さらに症状が進行悪化するようなら手術などの治療もありますが、まれです。主治医と今後の治療・検査等についてよくご相談されるのがよいと思われます。

（第2、4金曜日掲載）

ドクターへの質問を募集します。お寄せいただいた中から毎月2件、紙面で回答します。病気の症状や経過などをなるべく詳しく書いてください。名前（匿名可）、年齢、性別、連絡先（住所、電話番号）を明記し、〒322-0186、下野新聞社くらし文化部「健康よろず相談室」係へ。住所不要。FAX（0288・625・1185）、メール（dotto-ko@shimotsuke.co.jp）でも受け付けま